

台湾ミッション（知事行程）の主な内容

9月3日（月）

① 台北地下街での物産展・商談会の開催及び三重県バナー広告の紹介

沖縄の地域商社である新垣通商が経営する日本情報館 E∞JAPAN において開催される「三重・沖縄物産展」を視察するとともに、県内企業の出資により作成した、三重県への観光誘客を目的とした壁面バナー広告を現地メディアに紹介することにより、三重県の取組と魅力を PR します。

《知事（行政団）、市町村振興協会、三重県商工会議所連合会、経済団》

② 台湾・三重県交流5周年記念シンポジウム

三重県は、平成 25 年 5 月に開催した「日台観光サミット in 三重」を契機に台湾との交流を本格的に進めてきました。台湾と三重県の交流 5 周年を記念し、台湾を代表する企業グループで構成されている経済団体である台湾三三企業交流会等の参加により、さらなる交流促進に向けた議論を行います。

《知事（行政団）、市町村振興協会、経済団》

③ 台湾企業関係者等との夕食交流会

台湾三三企業交流会をはじめとした台湾企業関係者と県内企業の新たなネットワーク構築に向けて交流を図るため、三重県及び三重県商工会議所連合会の主催により、夕食交流会を開催します。

《知事（行政団）、市町村振興協会、三重県商工会議所連合会、経済団》

9月4日（火）

④ 猫空（マオコン）ロープウェイ視察

本年 5 月に御在所ロープウェイとの間で友好協定を締結した猫空ロープウェイを訪問し、企業連携による観光交流の事例を視察します。

《知事（行政団）、市町村振興協会、経済団》

⑤ 台湾行政院訪問

日本との関係を重視している台湾の要人（頼清徳行政院長及び陳菊総統府秘書長）と意見交換を行い、観光、食、産業、教育、文化、スポーツなど多様な分野での交流促進を要請し、三重県と台湾との関係を強化します。

《知事（行政団）、市町村振興協会、経済団》

⑥ 台湾外交部等との昼食交流会

台湾外交部（外務省に相当）及び台湾の対日窓口機関である台湾日本関係協会を訪問し、台湾と三重県の交流状況等について意見交換を行います。また、三重県及び県内市町と台湾の間の、地方レベルの交流促進について、協力を依頼します。

《知事（行政団）、市町村振興協会》

⑦ 台湾ソフトボール協会訪問

台湾女子ソフトボールチームを対象とした東京オリンピックのホストタウンの申請中である熊野市とともに台湾ソフトボール協会を訪問します。熊野市と同協会は、東京オリンピック期間中及びその後の交流促進にかかる協定書に署名することから、署名式に立会います。

《知事（行政団）、熊野市長》

⑧ 最大手旅行会社ライオングループへのトップセールス

台湾最大手の旅行会社グループであるライオングループ本社を訪問し、三重県へのさらなる送客増加に向けたトップセールスを行います。

《知事（行政団）、市町村振興協会》

⑨ 三重県FIT誘客キャンペーン記者発表会

台湾からの個人旅行者（FIT）の誘客に向けたキャンペーンの実施について現地メディアを対象とした記者発表会を行います。

《知事（行政団）》

⑩ 台湾観光局との夕食会

台湾観光局及び台湾観光協会との関係維持強化のため、三重県主催の夕食会を開催し、双方向での交流人口増加に向けた意見交換を行います。

《知事（行政団）、市町村振興協会》

9月5日（水）

⑪ 台湾国際教育旅行連盟訪問

台湾からの訪日教育旅行受入強化のため、台湾全域の高校教育旅行を推進する団体である台湾国際教育旅行連盟の会長（台中市内の高校長）を訪問し、受入に係るトップセールスを行います。

《知事（行政団）、市町村振興協会》

⑫ 高級スーパー裕毛屋での三重県物産展視察及び県産品販路拡大に向けたトップセールス

台中市にある高級スーパー裕毛屋において開催されている三重県物産展の会場を訪問し、三重県産品の取扱拡大のためのトップセールスを行います。

《知事（行政団）》

⑬ 台中市長訪問

三重県と台中市は昨年 2 月に相互交流の促進に係る覚書を締結しており、関係者が連携した交流人口の拡大に向けた取組について意見交換を行います。

《知事（行政団）、市町村振興協会、経済団》

⑭ 県産和牛プロモーション

こだわりの希少ブランド和牛を求めるバイヤーを対象として、県産ブランド牛(伊賀牛)の現地プロモーションを開催するのに合わせ、県産ブランド牛の魅力や美味しさをPRします。

《訪問者：知事（行政団）、名張市長》



(台北市)

面積：272 km²

人口：2,675,713 人 (2018 年 6 月) (台湾第 4 位)

台北市は、新北市 (3,987,520 人) (2018 年 6 月) (台湾第 1 位) ととともに、台湾最大の都市圏である台北首都圏を形成しており、台湾における政治経済及び金融の中心地である。

(台中市)

面積：2,215 km²

人口：2,794,933 人 (2018 年 6 月) (台湾第 2 位)

台中市は、2017 年 7 月、高雄市の人口を抜いて、台湾第 2 の都市となった。人口増の要因は積極的な子育て支援や投資誘致と言われており、工作機械、電子パネル、自転車等、製造業が盛ん。また、「三井アウトレットパーク台中港」が 2018 年末に開業予定である。